

ソラネコ

cocoratte

昔、猫は、もっと愚かで、地上にしかない生き物だと思われていました。

ところが、地下にはツチネコがいますし、空を飛べる猫、ソラネコがいることに、人間はだんだん気づいてきました。

これは、あるソラネコと男の子のお話です。その家では、たくさんの猫を飼っていましたが、言葉を話せ、空を飛べるのは、翼のある、ソラネコだけでした。

ある日、茶色猫が、空中三回転ジャンプで、ベランダから、地上に降りた日、ソラネコは、男の子にいいました。

「地球には、他にもソラネコが、住んでいる場所があるそうだね。そこまで、飛んでいけるかな？」

駄目だよ！と、男の子は、言いました。

「大陸と大陸の間には、海があるんだ。いくら、君でも海は泳げないだろ？途中で、休みたくなったら、溺れてしまうよ」

ソラネコは、そのベランダで、空に浮かびながら、言いました。

「うん。そうだね。それに、ソラネコは、空を飛ぶのがうまくない。それに、君に出会えたことに、感謝しているし」

ソラネコが、本当に空に行くときは、魂が、解放されるとき。

つまり、いなくなるってこと。

男の子はそのソラネコのことを本当に好きだったのでしょ。

別れたくなかったのです。

そして、いなくなったソラネコや猫たちは、他のソラネコやツチネコたちに出会う。魂の場所で。